

平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年1月28日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 プロトコーポレーション
 コード番号 4298 URL <http://www.proto-g.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 入川 達三
 (氏名) 清水 茂代司

TEL 052-934-2000

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	18,935	7.1	4,688	4.9	4,739	5.4	2,741	1.1
21年3月期第3四半期	17,676	—	4,469	—	4,495	—	2,711	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	262.12	—
21年3月期第3四半期	259.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	23,176	16,888	72.5	1,606.43
21年3月期	21,608	14,865	68.4	1,413.52

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 16,803百万円 21年3月期 14,786百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
22年3月期	—	35.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,000	14.1	6,000	11.4	6,001	11.1	3,504	9.9	334.99

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有

新規 2社 (社名 株式会社Medical CUBIC、株式会社 システムワン) 除外 1社 (社名)

(注)詳細は、6ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、6～7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)詳細は、6～7ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	10,470,000株	21年3月期	10,470,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	9,616株	21年3月期	9,331株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	10,460,503株	21年3月期第3四半期	10,460,971株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成22年3月期の業績予想は、「平成21年3月期 決算短信」(平成21年5月13日付)において公表した数値より変更しておりません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、6ページ【定性的情報・財務諸表等】「3.連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期のわが国経済は、生産・在庫調整の一巡、新興国向け輸出の増加により一部に回復の兆しが見えつつあるものの、企業の収益回復力は弱く、景気回復の転換期を迎えるには至っておりません。また、雇用・所得環境においても完全失業率が高水準で推移するなど改善の兆しが見られず、個人消費の低迷を背景としたデフレ傾向が続いております。こうした経済環境の中、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましては、エコカー減税ならびにエコカー補助金制度の効果により、10-12月期の新車販売台数は前年実績を上回る水準で推移し、回復基調にあります。一方、中古車登録台数につきましては、中古車流通量の減少により、前年実績を下回る厳しい環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、ブランドの確立を経営戦略上の重点課題と位置付け、自動車関連情報分野の成長維持と、生活関連情報分野の事業確立・拡大に取り組んでまいりました。具体的には、様々なユーザーの利便性を追求したサービス（機能）の拡充を推進するとともに、インターネット・モバイルのメディアパワーを拡大させることによって、「Goo」をはじめとした商品ブランドの更なる強化に努めると同時に、『情報を未来の知恵に』をメッセージとした企業ブランドの確立を図ってまいりました。

また、グループシナジーの追求・事業領域の拡大に取り組み、子会社2社の取得および1件の事業譲受けを行いました。子会社の取得については、自動車整備業界への情報・サービスの提供を行う株式会社システムワン、ならびに医療・介護業界において人材紹介サービスの提供を行う株式会社Medical CUBICの2社を当第3四半期より子会社化いたしました。事業の譲受けについては、平成21年10月に株式会社ディー・エヌ・エーからリサイクル総合情報サイト「おいくら」の事業を取得し、同月より運営を開始いたしました。

こうした取り組みの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、主要事業である自動車関連情報事業をはじめとする全てのセグメントにおいて増収を維持したことから、18,935百万円（対前年同四半期比7.1%増）となりました。営業利益につきましては、事業規模拡大に伴う人件費の増加、ならびに当第3四半期より子会社化した株式会社システムワン及び株式会社Medical CUBICの営業コストが発生したものの、プロモーションコストの抑制等、コスト管理の徹底を図ったことにより、4,688百万円（対前年同四半期比4.9%増）となりました。経常利益につきましては4,739百万円（対前年同四半期比5.4%増）、四半期純利益につきましては2,741百万円（対前年同四半期比1.1%増）となりました。

(参考情報) 連結業績予想と実績との差異

(金額単位：百万円)

	平成22年3月期第3四半期連結会計期間			平成22年3月期第3四半期連結累計期間		
	業績予想	実績	差異	業績予想	実績	差異
売上高	6,936	6,615	△320	19,256	18,935	△320
営業利益	1,363	1,584	221	4,467	4,688	221
経常利益	1,350	1,604	254	4,485	4,739	254
当期純利益	788	889	100	2,641	2,741	100

なお、事業のセグメント別の業績につきましては、次のとおりであります。

(1) 自動車関連情報

当社グループを取り巻く外部環境が厳しい状況で推移する中、中古車販売店の仕入れから販売までの総合的な経営支援を事業方針に掲げ、取引社数の拡大ならびにクライアント当たりの取引単価の維持・拡大に努めてまいりました。

当第3四半期におきましては、平成21年10月に株式会社システムワンを子会社化し、自動車整備業界への情報・サービスの提供を行うことで事業領域の拡大を推し進め、自動車のメンテナンスに関する情報・サービスを当社グループ内で幅広く展開することでコンテンツの拡充を図ってまいりました。

既存事業につきましては、引き続き、掲載コンテンツ量の最大化とユーザーの利便性の向上に努め、「Goo」ブランドの更なる強化を図ってまいりました。クルマ情報誌「Goo」等の情報誌メディアにおきましては、平成21年4月に「Goo北陸版」を創刊し、事業エリアの拡大ならびに取引社数の拡大を図ってまいりました。インターネット・モバイルメディアにおきましては、「Goo-net」内で自動車整備工場の車検見積もりコンテンツを追加し、カーライフに有用な情報の提供に取り組んでまいりました。同時に、中古車品質に関する情報を開示する「Goo認定車」につきましては事業エリアの拡大を推し進め、参加社数ならびにGoo認定車掲載台数の拡大を図ってまいりました。こうした、ユーザーの様々なニーズに応えることができる環境の整備に取り組んだ結果、中古車販売台数が伸び悩むマーケットの中でも、当社のメディアを利用するユーザーの拡大や購買意欲の向上が図られることとなり、当社クライアントにおける販売機会の拡大へとつながっております。

以上のことから、競争優位性の確立による「Goo」ブランドの強化、ならびに事業領域の拡大を図った結果、売上高は16,943百万円（対前年同四半期比3.0%増）となりました。営業利益につきましては、従業員の増員に伴う人件費の増加が発生したものの、IT事業の売上拡大ならびにコスト管理の徹底を図ったこと等により、5,824百万円（対前年同四半期比2.4%増）となりました。

(2) 生活関連情報

インターネット・モバイルメディアにおきましては、コンテンツの拡充とサービス（機能）の拡充を通じてユーザビリティの向上に努め、当社メディアを利用するユーザーの拡大を図ることでメディアパワーの強化に取り組んでまいりました。具体的には、平成21年10月に株式会社Medical CUBICを子会社化し、医療・介護業界における人材紹介サービスの拡充および当社が運営する看護師専門求人情報サイト「ナースエージェント」の強化を図ってまいりました。更に、平成21年10月に株式会社ディー・エヌ・エーからリサイクル総合情報サイト「おいくら」の事業譲渡を受け、事業領域の拡大に取り組んでまいりました。こうした取り組みが、取引社数の拡大に寄与しております。また、アフィリエイト事業や広告代理事業が増収に寄与した結果、売上高は1,602百万円（対前年同四半期比76.3%増）となりました。営業利益につきましては、従業員の増員に伴う人件費の増加等、事業拡大に伴う営業費用が増加したものの、大幅な増収により営業収支が改善され、104百万円（対前年同四半期比130.5%増）となりました。

(3) 不動産

当社および株式会社リペアテックが自社物件の賃貸管理を中心に行い、売上高は155百万円（対前年同四半期比7.4%増）、営業利益は80百万円（対前年同四半期比52.3%増）となりました。

(4) その他事業

株式会社マーズフラッグにおいてサイト内検索「MARS FINDER」の積極的な営業展開により取引社数の拡大を図るとともに、株式会社プロトデータセンターのBPO（ビジネス プロセス アウトソーシング）事業において、グループ外企業との取引拡大が寄与した結果、売上高は233百万円（対前年同四半期比37.2%増）となりました。営業利益につきましては、株式会社マーズフラッグの営業収支が改善した一方、株式会社プロトデータセンターにおいて、グループ外企業との取引拡大による営業費用等が発生した結果、33百万円の損失（前年同四半期実績は79百万円の損失）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は23,176百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,567百万円増加いたしました。資産、負債及び純資産の状況につきましては、次のとおりであります。

①資産

流動資産につきましては、株式会社プロトデータセンターの本社社屋建設に係る工事代金の支払や未払法人税等の支払が発生したものの、当該支出を上回る営業キャッシュ・フローを獲得したことで現金及び預金が増加して12,956百万円となり、前連結会計年度末と比較して918百万円増加しております。固定資産につきましては、平成21年10月に子会社化した株式会社システムワンならびに株式会社Medical CUBICの株式取得に係るのれん、およびおいくら事業の譲り受けにより発生したのれんを計上したことなどから10,220百万円となり、前連結会計年度末と比較して649百万円増加しております。

②負債

流動負債につきましては、未払費用の増加が発生したものの、株式会社プロトデータセンターの本社社屋建設に係る工事代金の支払及び未払法人税の支払により5,542百万円となり、前連結会計年度末と比較して624百万円減少しております。固定負債につきましては、連結子会社において長期の借入が発生したことなどから745百万円となり、前連結会計年度末と比較して168百万円増加しております。

③純資産

配当金の支払が732百万円あったものの、四半期純利益の計上により、利益剰余金が増加したことから純資産は16,888百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,023百万円増加しております。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物につきましては、前連結会計年度末と比較して445百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末残高は9,552百万円となりました。現金及び現金同等物が増加した主な要因につきましては、次のとおりであります。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払による支出が2,285百万円発生したものの、税金等調整前四半期純利益4,631百万円を計上したこと等により2,328百万円の収入となりました。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、株式会社プロトデータセンターの本社社屋建設に係る工事代金の支払が470百万円、投資有価証券の取得による支出が300百万円、子会社株式の取得による支出が258百万円、事業譲受による支出が182百万円等の発生により、1,147百万円の支出となりました。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、主に当社において配当金の支払による支出が721百万円あったことにより、742百万円の支出となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループの業績につきましては、現在のところ概ね当初計画通りに進捗していることから、平成21年5月13日発表の通期業績予想に変更はございません。

但し、景気先行きの不透明感から、個人消費においては節約志向が依然強く、当社グループの主要顧客である自動車販売業界におきましても引き続き厳しい経営環境が続くものと考えられます。これら事業環境の変化等により、業績に変動を与える可能性のある事象が生じた場合等においては、適時に業績予想の見直しについて検討を行ってまいります。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規：株式会社システムワン

当社グループでは、連結子会社である株式会社リペアテックを通じて、自動車板金塗装業界への情報・サービスの提供を行っております。自動車整備業界への情報・サービスの提供を行っている株式会社システムワンを子会社化することで、株式会社リペアテックとのシナジーが期待できることとなります。また、自動車の車検・整備・法定点検・アフター取付から板金塗装に至るまで、自動車メンテナンスに関する情報・サービスをグループ内で幅広く展開することで、自動車業界における顧客層の拡大が可能であると考え、平成21年10月1日付で同社株式の全株を取得して連結子会社といたしました。

新規：株式会社Medical CUBIC

当社グループでは、有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」、介護・医療・福祉の求人・転職サイト「介護求人ナビ」の運営をはじめ、「介護のことがよくわかる本」を出版するなど、ケア関連事業に係る商品・サービスの提供を積極的に展開しております。さらに、看護師専門求人情報サイト「ナースエージェント」の運営を開始し、看護師の転職をサポートするとともに、医療・介護業界の看護師不足解消に向けた取り組みを行っております。株式会社Medical CUBICは医療・介護の領域において、看護師・医師・薬剤師をはじめとするキャリアアップの実現に向けた人材紹介サービスを中心に事業を展開しており、同社を子会社化することで看護師専門求人情報サイト「ナースエージェント」の強化を図るとともに、介護・医療・福祉分野における当社グループの存在感を一層高めることができると考え、平成21年10月1日付で同社株式の全株を取得して連結子会社といたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,618,756	9,257,401
受取手形及び売掛金	2,588,994	2,395,830
商品及び製品	13,217	13,440
仕掛品	68,132	45,518
原材料及び貯蔵品	25,287	10,418
繰延税金資産	230,456	141,898
その他	412,698	175,469
貸倒引当金	△1,240	△1,884
流動資産合計	12,956,301	12,038,093
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,188,866	3,341,275
土地	3,900,031	3,900,031
その他(純額)	65,860	77,103
有形固定資産合計	7,154,759	7,318,411
無形固定資産		
のれん	697,154	132,531
その他	220,323	161,442
無形固定資産合計	917,478	293,973
投資その他の資産		
投資有価証券	628,465	438,254
繰延税金資産	506,335	493,608
その他	1,044,056	1,055,711
貸倒引当金	△30,795	△29,320
投資その他の資産合計	2,148,061	1,958,253
固定資産合計	10,220,298	9,570,637
資産合計	23,176,600	21,608,731

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	770,134	727,180
1年内返済予定の長期借入金	62,352	—
未払費用	1,363,450	1,239,363
未払法人税等	937,265	1,245,439
前受金	1,945,013	2,121,637
返品調整引当金	43,320	51,357
賞与引当金	25,925	35,440
その他	395,274	747,009
流動負債合計	5,542,735	6,167,427
固定負債		
長期借入金	124,734	—
退職給付引当金	196	—
役員退職慰労引当金	207,787	194,600
負ののれん	34,134	41,465
その他	378,365	340,159
固定負債合計	745,217	576,224
負債合計	6,287,953	6,743,652
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,824,620	1,824,620
資本剰余金	2,011,736	2,011,623
利益剰余金	13,009,138	10,999,460
自己株式	△12,616	△11,778
株主資本合計	16,832,878	14,823,925
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,396	△27,143
為替換算調整勘定	△7,590	△10,412
評価・換算差額等合計	△28,987	△37,556
少数株主持分	84,756	78,708
純資産合計	16,888,647	14,865,078
負債純資産合計	23,176,600	21,608,731

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	17,676,705	18,935,826
売上原価	6,726,995	7,584,253
売上総利益	10,949,709	11,351,572
返品調整引当金戻入額	54,224	51,357
返品調整引当金繰入額	58,538	43,320
差引売上総利益	10,945,395	11,359,609
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	2,805,003	3,111,760
役員退職慰労引当金繰入額	11,200	13,187
賞与引当金繰入額	13,511	14,260
広告宣伝費	1,045,245	854,946
貸倒引当金繰入額	10,192	11,895
のれん償却額	24,436	53,403
その他	2,566,011	2,612,049
販売費及び一般管理費合計	6,475,601	6,671,503
営業利益	4,469,793	4,688,106
営業外収益		
受取利息	6,579	9,447
受取配当金	13,947	5,097
負ののれん償却額	4,960	7,330
古紙売却収入	25,587	—
匿名組合投資利益	—	18,353
その他	20,359	22,895
営業外収益合計	71,433	63,124
営業外費用		
支払利息	—	1,069
投資事業組合運用損	43,577	7,004
その他	2,412	3,277
営業外費用合計	45,990	11,352
経常利益	4,495,237	4,739,877
特別利益		
投資有価証券売却益	13,328	3,160
過年度損益修正益	50,649	—
特別利益合計	63,977	3,160
特別損失		
たな卸資産評価損	2,966	—
固定資産除却損	19,052	23,739
投資有価証券売却損	—	7,539
投資有価証券評価損	151,953	77,001
役員退職慰労金	154	—
減損損失	6,538	—
その他	—	3,524
特別損失合計	180,666	111,805
税金等調整前四半期純利益	4,378,548	4,631,232
法人税、住民税及び事業税	1,892,092	1,977,541
法人税等調整額	△200,214	△94,273
法人税等合計	1,691,878	1,883,268
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△24,428	6,047
四半期純利益	2,711,099	2,741,916

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,378,548	4,631,232
減価償却費	141,672	216,117
減損損失	6,538	—
のれん償却額	24,436	53,403
負ののれん償却額	△4,960	△7,330
デリバティブ評価損益(△は益)	1,186	—
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△1,145	13,187
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,200	—
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,985	△12,843
返品調整引当金の増減額(△は減少)	4,314	△8,037
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,303	△3,939
受取利息及び受取配当金	△20,526	△14,545
支払利息	—	1,069
投資事業組合運用損益(△は益)	43,577	7,004
匿名組合投資損益(△は益)	△13,503	△18,353
投資有価証券売却損益(△は益)	△13,328	4,379
投資有価証券評価損益(△は益)	151,953	77,001
たな卸資産評価損	2,966	—
固定資産除売却損益(△は益)	17,517	23,739
売上債権の増減額(△は増加)	373,691	△290,458
たな卸資産の増減額(△は増加)	△22,606	△28,493
仕入債務の増減額(△は減少)	△771,065	△47,527
未払費用の増減額(△は減少)	421,809	79,959
前受金の増減額(△は減少)	143,866	△180,096
未払消費税等の増減額(△は減少)	7,846	101,597
その他	83,876	6,491
小計	4,944,578	4,603,558
利息及び配当金の受取額	20,812	11,519
利息の支払額	—	△1,069
法人税等の支払額	△1,871,768	△2,285,614
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,093,622	2,328,394
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△370,305
定期預金の払戻による収入	—	450,000
有形固定資産の取得による支出	△2,638,680	△494,449
無形固定資産の取得による支出	△72,974	△25,736
長期前払費用の取得による支出	△16,895	△6,310
投資有価証券の取得による支出	△175,964	△300,000
投資有価証券の売却による収入	32,538	7,779
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△258,093
投資事業組合からの分配による収入	—	17,500
事業譲受による支出	△109,053	△182,379
その他	12,986	14,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,968,042	△1,147,712

(単位：千円)

	前第3 四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3 四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,904	△7,500
長期借入金の返済による支出	—	△12,352
自己株式の取得による支出	△1,165	△941
自己株式の処分による収入	237	216
配当金の支払額	△618,166	△721,785
財務活動によるキャッシュ・フロー	△615,191	△742,362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△15,947	7,024
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△505,558	445,344
現金及び現金同等物の期首残高	8,985,447	9,107,401
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,479,889	9,552,746

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）

	自動車関連 情報(千円)	生活関連 情報(千円)	不動産 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	16,452,035	909,388	144,938	170,342	17,676,705	—	17,676,705
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	2,573	5,025	7,598	(7,598)	—
計	16,452,035	909,388	147,512	175,367	17,684,303	(7,598)	17,676,705
営業利益 又は営業損失(△)	5,689,625	45,148	52,977	△79,151	5,708,600	△1,238,806	4,469,793

(注) 1 事業区分は、主として情報コンテンツの内容にて区分しております。

2 各事業の主な情報コンテンツ等

- (1) 自動車関連情報 クルマ情報誌「Goo」、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」
- (2) 生活関連情報 レッスン情報サイト「VeeSCHOOL.com」、有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」
- (3) 不動産 不動産賃貸
- (4) その他事業 見えるサイト内検索「MARS FINDER」ほか

当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

	自動車関連 情報(千円)	生活関連 情報(千円)	不動産 (千円)	その他事業 (千円)	計(千円)	消去又は 全社(千円)	連結(千円)
売上高及び営業損益							
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	16,943,415	1,602,972	155,693	233,745	18,935,826	—	18,935,826
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,550	904	88,591	20,746	113,792	(113,792)	—
計	16,946,965	1,603,877	244,285	254,491	19,049,619	(113,792)	18,935,826
営業利益 又は営業損失(△)	5,824,475	104,082	80,697	△33,222	5,976,032	△1,287,926	4,688,106

(注) 1 事業区分は、主として情報コンテンツの内容にて区分しております。

2 各事業の主な情報コンテンツ等

- (1) 自動車関連情報 クルマ情報誌「Goo」、クルマ・ポータルサイト「Goo-net」
- (2) 生活関連情報 レッスン情報サイト「VeeSCHOOL.com」、有料老人ホーム・シニア住宅検索サイト「オアシスナビ」
- (3) 不動産 不動産賃貸
- (4) その他事業 見えるサイト内検索「MARS FINDER」ほか

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）ならびに当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「日本」の割合が90%を超えているため、記載を省略いたしております。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日）ならびに当第3四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日）

海外売上高が連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略いたしております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

【生産、受注及び販売の状況】

(1) 生産実績

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車関連情報	3,606,280	94.6
生活関連情報	568,648	295.9
その他事業	2,666	64.7
合計	4,177,594	104.2

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、発生しておりません。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 生産実績につきましては、自動車関連情報、生活関連情報、その他事業における外注費を表示しております。不動産につきましては、生産実績がありませんので記載しておりません。

(2) 受注実績

受注後売上計上までの期間が概ね1ヶ月以内であるため、記載を省略しております。

(3) 販売実績

事業の種類別セグメントの名称	当第3四半期連結累計期間 (千円)	前年同四半期比 (%)
自動車関連情報	16,943,415	103.0
情報登録・掲載料	14,108,374	99.4
情報提供料	2,835,040	125.6
生活関連情報	1,602,972	176.3
不動産	155,693	107.4
その他事業	233,745	137.2
合計	18,935,826	107.1

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
 3 自動車関連情報の情報登録・掲載料につきましては、主に情報誌への広告掲載料であります。また、情報提供料につきましては、主に個人向け情報誌の本売上及び法人向けデータ提供料であります。
 4 連結売上高に占めるクルマ情報誌「Goo」の割合は、38.1%であります。

地域別	当第3四半期連結累計期間 (千円)	前年同四半期比 (%)
北海道・東北地区	1,577,639	114.7
関東地区	7,379,748	109.5
東海・北陸地区	4,198,458	98.5
近畿地区	3,910,083	110.2
中国地区	817,466	112.7
九州・沖縄地区	1,030,161	105.2
その他(海外)	22,268	45.8
合計	18,935,826	107.1

- (注) 1 セグメント間取引につきましては、相殺消去しております。
 2 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。